

獨逸道路交通法

人及車輛ノ道路交通許可令 (二)

多 田 基

第二十三條

自動車ノ公的標識ト附隨車ノ許可標識

ノ交付

用スベシ。申請書ニハ次ノ事項ヲ掲載スベシ。

(a) 姓名、職業、身分及車輛ノ許可ヲ受クベキ者ノ宛

名ノ精確ナル申告並ニ車輛ノ正規ノ所在地

(b) 車輛ノ種類

(c) 添付セル自動車及附隨車證書ノ番號

(d) 許可官廳送付ノ書狀ヲ取得スベキ者ノ精確ナル宛

名

(ニ) 許可官廳ノ交付スベキ標識 (附隨車ノ許可標識)

ニハ、行政管區ノ識別標識及許可官廳ニ登録セル車輛ノ識

別番號ヲ記載ス。標識ノ形態及備付ハ第六十條、附隨車ノ

(一) 車輛主ハ、自動車ノ公的標識又ハ附隨車ノ許可標

識ノ交付ヲ、行政官廳 (許可官廳) ニ申請スベシ。但シ、

該許可官廳ノ管區ニ、其ノ車輛ハ正規ノ所在地 (住所) ヲ

有セザルベカラズ。申請書ニハ自動車證書又ハ附隨車證書

ヲ添付シ、運轉許可ガ未ダ與ヘラレザル場合ニハ、同時ニ

之ヲ申請スベシ。自動車證書又ハ附隨車證書ニハ、獨逸印

刷局登録標タル透カシ模様 (棒型) アル官製用紙ノミヲ使

許可標識ハ第六十一條ヲ適用スベシ。獨逸國土内ニ於ケル行政管區ノ識別標識ハ、附錄第一案ニ據ツテ割當テラル。

コノ案ニ據リテ記號ノ定マリタル管區ノ官廳ガ、所屬行政管區ノ識別番號ノ割當テヲ行フモノトス。同位ノ若干行政管區ニ一記號ガ割當テラレタル時、獨逸交通大臣ガ識別番號ヲ割當ルベキ官廳ヲ決定ス。

(三) 自動車ノ公的標識ニハ、許可官廳ノ廳印及該官廳ノ委託セル官廳ノ廳印ヲ捺スベシ。附隨車(第六十條第四項ニ依リ)ニ掲グベキ標識ニハ、官廳ノ印ヲ捺スベカラズ。標識ニ捺印スル爲ニハ車輛ヲ運行スベシ。標識捺印ノ爲ノ往路及車輛ノ廢車(第二十七條第五項)ノ爲ノ捺印除去後ノ歸路ニハ無印標識ヲ掲グコトヲ許サル。許可官廳ハ割當標識及許可標識ノ變更ヲ爲シ得ルモノトシ、之ニハ車輛ノ連行ヲナサシムルコトヲ得。

第二十四條

自動車又ハ附隨車證ノ作成

運轉許可ニ基ヅキ標識又ハ許可標識ガ交付サレタル後

ハ、自動車證(Kraftfahrzeugschein——型・第一)又ハ

附隨車證(Anhängerschein——型・第三)ガ作成サレ手交サル。運轉許可ヲ未ダ取得セザル時ハ、之ハ自動車又ハ附隨車證ノ作成ニ依リテ付與セラル。自動車證又ハ附隨車證ニ列記サレタル廣範ノ條件ガ課セラレタル時ニ限り、運轉許可書ノ特別作成ヲ必要トス。本證ハ常ニ携行シ、權限ヲ有スル官吏ノ検査要求アルトキハ手交スベシ。

第二十五條

自動車及附隨車證書ノ許可官廳ニ於ケル

取扱

(一) 許可官廳ハ、車輛ノ公的標識又ハ許可標識及車輛ノ許可ヲ取得シタル者ヲ、自動車證書又ハ附隨車證書(Kraftfahrzeug oder Anhängerbrief)ニ記入スベシ。許可官廳ハ、該證書ヲベルリン市獨逸統計局「自動車調査蒐集所」ヘ送達シ、返戻後直チニ、第二十三條第一項dニ據リ申請書ニ記載セラレタル受領者ニ交付スベシ。該受領者ハ、原則トシテ、證書ヲ自ラ許可官廳ニ取りニ行キ、同時

ニ受領ヲ證明スベシ。受領者ガ二週間以内ニ之ヲ爲サザル時ハ、手數料徵收ノ上「書留郵便」ニテ本證書ヲ送達スベシ。

(二) 自動車又ハ附隨車證書用紙ノ紛失ハ、用紙發行所ヘ届出ヅベシ。作成セル證書ノ紛失ハ、車輛ニ對シ權限ヲ有スル許可官廳ヘ、更ニ許可官廳ヲ通ジテ獨逸統計局自動車調査蒐集所ヘ届出ヅベシ。新證書作成前ニ於イテ別ニ例外的考慮ヲ要セザル時ハ、紛失證書ノ公告ハ、申請者ノ費用ニテ行フベシ。手續ハ行政命令ニ依リテ規定ス。

(三) 自動車證書又ハ附隨車證書中ニ、車輛許可ノ記入ノ爲ニ定メラレタル頁ガ充チタル場合、又ハ本證書ガ破損セル場合ハ、本證書ハ、自製ノ紙ヲ綴リ合セテ補フヲ得ズ。コノ場合新證書ハ手數料徵收ノ上作成セラル。許可官廳ハ、舊證書ニ基ヅク車輛ノ記述、型式許可書及公的鑑定ニ關スル記入ヲナシ、新證書ニハ、完結ノ爲回收セル證書ノ補充トシテ本證書ヲ作成セル旨ヲ證明ス。許可官廳ハ、獨逸統計局自動車調査蒐集所ニ新證書ヲ送付スル場合、舊證書ヲ添付スベシ。蒐集所ハ、先ニ車輛ノ許可ヲ受ケタル者

ノ氏名ヲ新證書ニ記入スベシ。

(四) 自動車證書及附隨車證書ニ關係ヲ有スル官廳ハ、申請書ノ受領並ニ證書ノ手交ヲナス場合、申出タル私法的要求ノ決定ヲナスベカラズ。止ムヲ得ザル權利ノ主張ハ、通常裁判ノ助力ヲ得テ行フベキモノトス。車輛ノ所有權又ハ他ノ權利ノ保證ヲ行フ爲ノ關係ガ證書ニアル場合ニハ、車輛ト共ニ許可官廳ニ證書ヲ提出スベシ。特ニ所有權變更(第二十七條第三項)ノ届出ニ於イテ然リトス。

第二十六條

カード作製

(一) 許可官廳ハ、交通許可ヲ得タル自動車及附隨車ヲ有効期間終了迄カード記録ニテ證明スベシ。該カードハ以下ノモノヨリ作成ス。

(a) 自動車證書及附隨車證書ヲ交付サレタル車輛ニ對シテハ、獨逸統計局「自動車調査蒐集所」ガ證書ニ基ヅキテ發行シ、許可官廳ニ送達セルカードヨリ作製サル。

(b) 證書ノ交付サレザル車輛ニ對シテハ、許可官廳自體ガ作製セルカードヨリ作製ス。カカル車輛ニ對シテハ、カード作製ノ代リニ名簿ノ作成ヲナシ得ルモノトス。

(a) ニ掲ゲタルカードノ到着迄、許可官廳ハ補助名簿又ハ補助カードニ依リテ車輛ヲ證明スベシ。

(二) カードハ車輛ノ識別番號ノ順序ニ從フベシ。

(三) カードニ於ケル變更(例ヘバ、第二十七條ニ依リ)ヲ許可官廳ハ獨逸統計局自動車調査蒐集所ニ報告スベシ。

第二十七條

自動車又ハ附隨車所有主及保管者ノ

届出義務

(一) 自動車又ハ附隨車證書及自動車又ハ附隨車證ニ於ケル記載事項ハ、常ニ實情ニ從ハザルベカラズ。變化アリタル時ハ、本證書及本證ヲ即刻當該官廳ニ提出シテ報告スベシ。所有主ハ報告ノ義務ヲ有ス。若シ彼ガ同時ニ保管者ニ非ル場合ハ、保管者モ又同一義務ヲ有ス。該義務ハ、官

廳ガ義務者ノ一人ヲ通ジテ報告セラルベキ事實ヲ知ル迄繼續スルモノトス。

(二) 二箇月以上、車輛ノ正規ノ住所ガ他ノ許可官廳ノ管區ニ移動シタルトキハ、新標識又ハ許可標識ノ交付ヲ遲滞ナク該官廳ニ申請スベシ。住所變更ガ概ソ一時的ナル場合ニアリテハ、車輛ニ標識又ハ許可標識ヲ交付セル許可官廳ニ通告スルヲ以テ足ル。

(三) 車輛ヲ賣却スル時ハ、賣却者ハ遲滞ナク、車輛ニ權限ヲ有スル許可官廳ニ取得者ノ姓名ヲ通告スベシ。賣却者ハ取得者ノ車輛繼續使用ノ爲受領證ト交換ニ自動車證及證書(附隨車證及證書)ヲ取得者ニ手交シ、彼ノ通告ニハ受領證ヲ添付スベシ。取得者ハ、遲滞ナク、車輛新住所ニ權限スル官廳ニ對シ、新自動車證又ハ附隨車證ヲ申請スベシ。從來他ノ許可官廳ガ該車輛ニ標識又ハ許可標識ヲ交付セル時ハ、又新標識ノ交付ヲ申請スベシ。商人ガ轉賣ノ爲車輛ヲ取得セル場合ニハ、該車輛ニ標識又ハ許可標識ヲ交付セル許可官廳ヘノ通告ニテ足ルモノトス。

(四) 第二項及第三項ニ依ル申請書ニハ、今迄ノ車輛證(附隨車證)又ハ公的證明ノアル寫本ヲ添付スベシ。從來ノ證明書ハ、新證明書交付前ニ必ズ提出スベシ。

(五) 一時的運轉中止ノミナラズ、車輛ノ交通ヲ決定的ニ廢スル時ハ、自動車證及自動車證書ヲ添付シテ許可官廳ニ遲滞ナク通告スベシ。本證書ハ自動車調査蒐集所ニ提出スベシ。調査蒐集所ニ於イテハ、之ヲ切斷シテ使用不能ニシ、取消ノ記入ヲナシテ、車輛ノ所有者ニ返却スベシ。公的標識ノ惡用ニ對シテハ、防止手段ヲ講ズベシ。標識ノ捺印ハ必ズ取り除クベシ。初ノ意思ニ反シテ車輛ノ運轉許可ヲ望ム場合ハ、證書ヲ提出スベシ。其ノ場合、本證書ハ回收サレ、第二十條第三項ニ依リテ新證書ヲ作成スルモノトス。

第二十八條

検査運轉、試験運轉、引渡運轉

(一) 公認専門家ノ車輛検査ノ爲ノ運轉ハ、運轉許可ヲ要セスシテ、専門家ノ交付セル公的捺印ヲ有スル赤色標識

ニ依リテ實施シ得ルモノトス。附隨車ニハ、之ガ爲許可標識ヲ必要トセズ。検査場ヘノ車輛ノ移動運轉及其處ヨリノ歸還運轉ハ検査ニ於ケル運轉トシテ取扱ヒ得ルモノトス。車輛検査ノ通知後、専門家ハ、證明書トシテ運轉ニ携行スベキ呼出狀ヲ送付シ、必要ニ應ジテハ赤色標識ヲ送付ス。公認門專家ハ、検査運轉ノ赤色標識ヲ提供スベシ。彼ハ、標識交付ニ對シテ手数料ヲ徴收シ得ルモノトス。専門家ノ住所ニ對シ權限ヲ有スル許可官廳ハ、識別番號ヲ専門家ニ付與ス。許可官廳ハ、ソレノ識別標識(第二十三條第二項)ヲ使用スベシ。

(二) 自動車又ハ附隨車ノ使用能力ノ確定及證明ノ爲ノ運轉(試験運轉)及主トシテ自動車又ハ附隨車ヲ他ノ地點ニ移動セシメル爲ノ運轉(引渡運轉)ニハ又運轉許可ヲ必要トセズ。カカル運轉ニ於イテハ、自動車ニハ赤色標識及特別ナル自動車證(型・第四)或ヒハ附隨車證(型・第五)ヲ携行スベシ。附隨車ニハ許可標識ヲ設置スルニ及バズ。購買欲ヲ一般ニ刺戟スル爲ノ運轉並ニ自動車又ハ附隨車ノ使

用代償ノ爲ノ運轉ハ、試験運轉ト看做サズ。

(三) 一般標識ノ規定ハ、試験運轉、検査運轉、引渡運轉中ノ特殊標識ニ適用ス。併レドモ、識別番號ハ、零(〇)ヲ第一字トシテ一又ハ之以上ノ數字ノ續ケルモノヨリ成立ス。標識ハ赤色ノ縁ヲトリタル白地ニ肉太キ文字ニテ書クベシ。之ハ車輛ニ固ク装置スルニ及バズ。

(四) 許可官廳ガ、必要ヲ確認シタル場合ニハ、試験及引渡運轉ノ爲ノ標識及自動車又ハ附隨車證ヲ交付スベシ。之等ノモノハ、使用後遲滯無ク返却スベシ。併シ乍ラ、許可官廳ハ、之等ノモノヲ反覆的使用ノ爲、車輛ノ異ル場合ニ於イテモ、自動車又ハ附隨車證ニ許可官廳ノ一定車輛ノ事前ノ記入ヲ要スルコトナク、信用アル製作者、商人又ハ職工ニ交付シ得ルモノトス。本證ノ受領者ハ、本證ノ使用以前ニ於イテ、本證及之ノ明細書ニ車輛ノ明細ヲ記入スベシ。其レ其レノ運轉ハ總ベテ記入スベキモノトス。權限ヲ有スル官廳ノ請求アル時ハ、明細書ヲ提供スベシ。交付セル本證ノ所在ヲ證明スル明細書及約一年間使用セザル本證

ハ許可官廳ニ提出スベシ。

第二十九條

自動車及附隨車ノ監督

(一) 道路交通ニ於ケル車輛ノ通常ノ監督以外ニ、自動車及附隨車ハ、軍ノ檢閲アル時、公認専門家ノ檢査ヲ受ケタルモノトス。考朽ノ爲又ハ他ノ理由ヨリ軍ノ檢閲ヲ受ケザル車輛ニ對シテハ、許可官廳ハ公認専門家ノ檢査ノ爲ノ供ルヲ命令シ得ルモノトス。該車輛ハ、呼出狀ニ指定サレタル場所ニ一定ノ時日ニ移動スベシ。本試験ハ、適當ナ時間ヲ隔テテ反覆シ得ルモノトス。

(二) 主トシテ試験スベキモノハ、**ハンドル**、**ブレーキ**、**照明**(特ニ投光器ノ光度及尾燈及**ブレーキ**燈ノ明瞭性)、**タイヤ**及方向指示器デアル。コノ他ニ、特ニ公定標識及其レノ照明並ニ不時ノ雜音及煙リ發生等ノ試験ヲ行フモノトス。

三、構造及運轉規則

一、一般規則

第三十條

車輛ノ狀態

車輛ハ、其レノ交通上ノ運轉ガ誰人モ危險ニ陷レズ、又ハ不可抗力以上ニ危害或ヒハ障害ヲ加ヘザルヤウ建造シ裝備スベシ。交通又ハ運轉安全ノ爲ニ、特ニ損耗又ハ破損ヲ受ケ易キ重要車輛部分ハ、簡單ニ取換ヘ得ルヤウニスベシ。

第三十一條

車輛運轉ノ責任

(一) 總ベテノ車輛及相互ニ連結セル總ベテノ列車ハ、獨立的指導ニ適スル運轉者ヲ有セザルベカラズ。運轉者ハ、車輛又ハ列車ガ牽引力及積荷ニ關シテモ規定狀態ニアルヤウ配慮スベシ。若シ、車輛ノ安全交通ヲ著シク害スル事故ガ運轉中ニ突發シ、之ヲ遲滯タク除去シ得ザル場合ハ、該車輛ノ交通中止ヲ、最短距離ニテ行フベシ。

(二) 車輛ガ、ソノ牽引力及積荷ニ關シテモ規定ニ從ハザルコトヲ車輛ノ保管者ガ知りタル時ハ、車輛ノ運轉ヲ命

ジ又ハ許可スベカラズ。

二、自動車ト其レノ附隨車

第三十二條

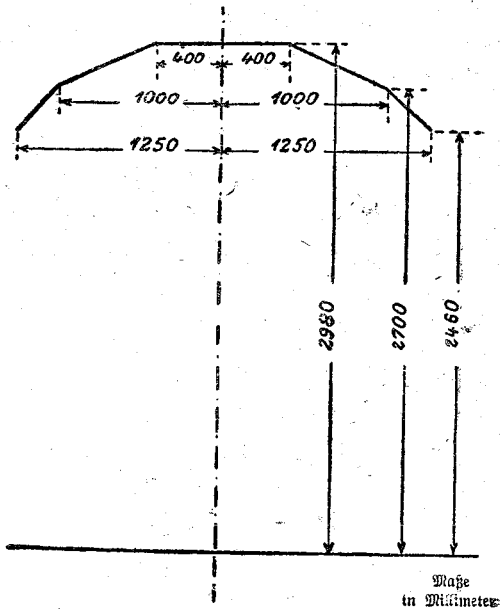
車輛ノ輪廓ト長さ

(一) 車輛幅員ハ、全重量(車輛ニ許可サレタル車軸負擔ノ合計)七噸迄ハ二・三五米、又七噸以上ハ二・五〇米ニ達シ得ルモノトス。但シ農業及林業用作業機械ハ例外トス。

(二) 相互ニ連結セル列車ノ長さハ、三十二米ヲ超過スベカラズ。

(三) 車輛ノ高さハ、四米ヲ超過スベカラズ。貨物自動車及附隨車ガ、無蓋ノ積荷容積ヲ持ツ場合ハ、ソレノ固定の上部構造物ヲモ含メテ、次圖ニ明示セル高さヲ超過スベカラズ。平面條板及平面臺ハ取外シ自由トナスベシ。三噸以上ノ實用積載量ヲ有スル車輛ニ於イテハ、其ノ中央部ノ高さハ、トモ二米ノ高さヲ持タザルベカラズ。或ヒハコノ高さヲ標準トスベシ。

(四) 車輛ノ輪廓ニ於イテハ、如何ナル部分ト雖モ不可



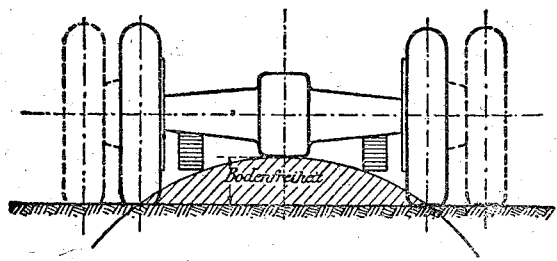
抗力以上ニ交通ヲ妨害スル如キ突出ハ許スベカラズ。

第三十三條

地上間隙

(一) 人及貨物滿載自動車ノ地上間隙 (Bodenfreiheit) ハ尠クトモ次ノモノトスベシ。

(a) 乗用自動車ニシテ衝程容積九〇〇立方糎以上二五〇



〇立方糎迄ノモノハ、一九〇糎

(b) 乗用自動車ニシテ、衝程容積一五〇〇立方糎以上三〇〇〇立方糎迄ノモノハ、二〇〇糎

〇〇〇立方糎迄ノモノハ、二〇〇糎

(c) 貨物自動車ニシテ、積載量一噸以上二・五噸迄ノモノハ、二三〇糎

ノハ、二三〇糎

(d) 貨物自動車ニシテ、積載

量二・五噸以上三・五噸迄ノモノハ、二五〇糎

ノハ、二五〇糎

(一) 地上間隙ハ、車輪ノ表面積ノ中央 (双輪ノ場合ニハ内輪) ヨリ車軸ニ至リ、高サガ第一

項ニ示ス數値ニ相當スル圓弧トナルガ故ニ、車輪ニ向ツテ減少

シ得ルモノトス。(上圖ヲ見ヨ)

(二) 一噸以上二・五噸ノ積

載量ヲ有スル貨物自動車ニ於イ

テハ、差動装置 (Ausgleichs-

装置)

Hube)ノ箱ハ三〇糎、一・五噸以上三・五噸ノ貨物自動車ニ於テハ四〇糎迄間隙ノ中ニ突出スルヲ得。(第二項ノ圖ニ於テハ細線ノ部分)但シ、箱ハ十分固定シ、其ノ底ニ損傷シ易キ附加物又ハ螺旋栓ヲ具フベカラズ。

(四) 最高速度ガ時速三〇糎ヲ超過セザル自動車及蓄電池ニ依リテ運轉セラルル自動車ニハ、第一項ヨリ第三項ニ至ル規定ヲ適用セズ。

第三十四條

軸壓ト全重量、無限軌道車輛ノ動輪壓

(一) 平面車道ニ於ケル車軸ノ壓力ハ、コノ車軸ノ車輪ガ與ヘル車輪壓力ノ總計トス。車軸ニ屬スル全車輪トハ、ソレノ中心ガ車輛ノ縱軸ト垂直ノ平面ニアルカ、又ハソノ中心ガ、コノ平面ヨリ最大車輪ノ直徑以上ノ距タリヲ持タザルモノトス。許可全重量ハ、車輛ニ許可サレタル軸壓ノ總計トス。許可セラルル軸壓ハ、車輛ガソレノ負擔能力ヲ超過セズ、又本法ニ規定サレタル最高軸壓ヲ超過セザルモノトス。

(二) 空氣タイヤ又ハ第三十六條第二項ニ許可セラレタルゴムタイヤヲ有スル自動車及附隨車ノ軸壓及全重量ハ次ノ數値ヲ超過スベカラズ。

	軸 壓 (噸單位)	全 重 量 (噸 單 位)
a) 二車軸自動車	8	13
b) 三車軸自動車	6.5	18.5
c) 四車軸以上ノ自動車	6	6×車軸數
d) 前車輪ナキ附隨車ヲ伴 フ自動車	一車軸ハ8 他ハ6.5	三車軸ダケハ18.5, 他ハ6×車軸數
e) 前車輪ヲ有スル附隨車	5.5	5.5×車軸數

自動車又ハ附隨車ニ、コノ他ノタイヤヲ裝置セル場合ニハ、軸壓ハ最高四噸迄許可セラルモノトス。

(三) 車輛ノ運轉者ガ、權限ヲ有スル官吏ノ要求ニ應ジテ車輛ニ許可サレタル軸壓ノ保持ヲ信用セシメラル得ザル場合ニハ、運轉者ハ、該官吏ノ指圖ニ從ヒ衡器又ハ軸壓計(車輛壓力計量器)ニ依リテ之ヲ證明スベキ義務ヲ有ス。衡器ガ、車輛ノ運轉方向ニ在ラザルトキハ、運行スベキ迂回路ガ六杆以内ナル場合ニ限リテ、コノ義務ハ存在スルモノトス。運轉ニ於イテハ、車輛ニ許可サレタル軸壓ノ超過ハ一車軸ニ付百分ノ五以下ハ普通ニ差支ヘナキモノトス。計量後、計量ノ結果ニ關スル證明書ハ運轉者ニ交付ス。咎ムベキ超過量ガ確定セル時ハ、計量費用ハ車輛保管者ノ負擔トス。検査官ハ、超過重量ニ相當スル貨物ノ積換ヘ又ハ荷卸シヲ要求シ得ルモノトス。但シ之ニ要スル費用ハ保管者ノ負擔トス。

(四) 全部又ハ部分的ニ無限連鎖又ハ連帶ノ上ヲ走ル車輛(無限軌道車輛)ノ動輪壓力ハ、平面車道上ニ於イテハ

一・五噸ヲ超過スルヲ得ズ。八噸以上ノ全重量ヲ有スル車輛ニ於イテハ、ソレガ停止セル時六種持チ上ゲタ動輪ノ壓力ガ平面車道ニ許可サレタル動輪壓力ノ二倍以上トナラザルヤウ動輪ヲ裝置スベシ。無限軌道車輛ノ全重量ハ、一八噸ヲ超過スベカラズ。

(五) 道路用輾壓機ハ軸壓ニ關スル本規定ヲ適用セズ。

